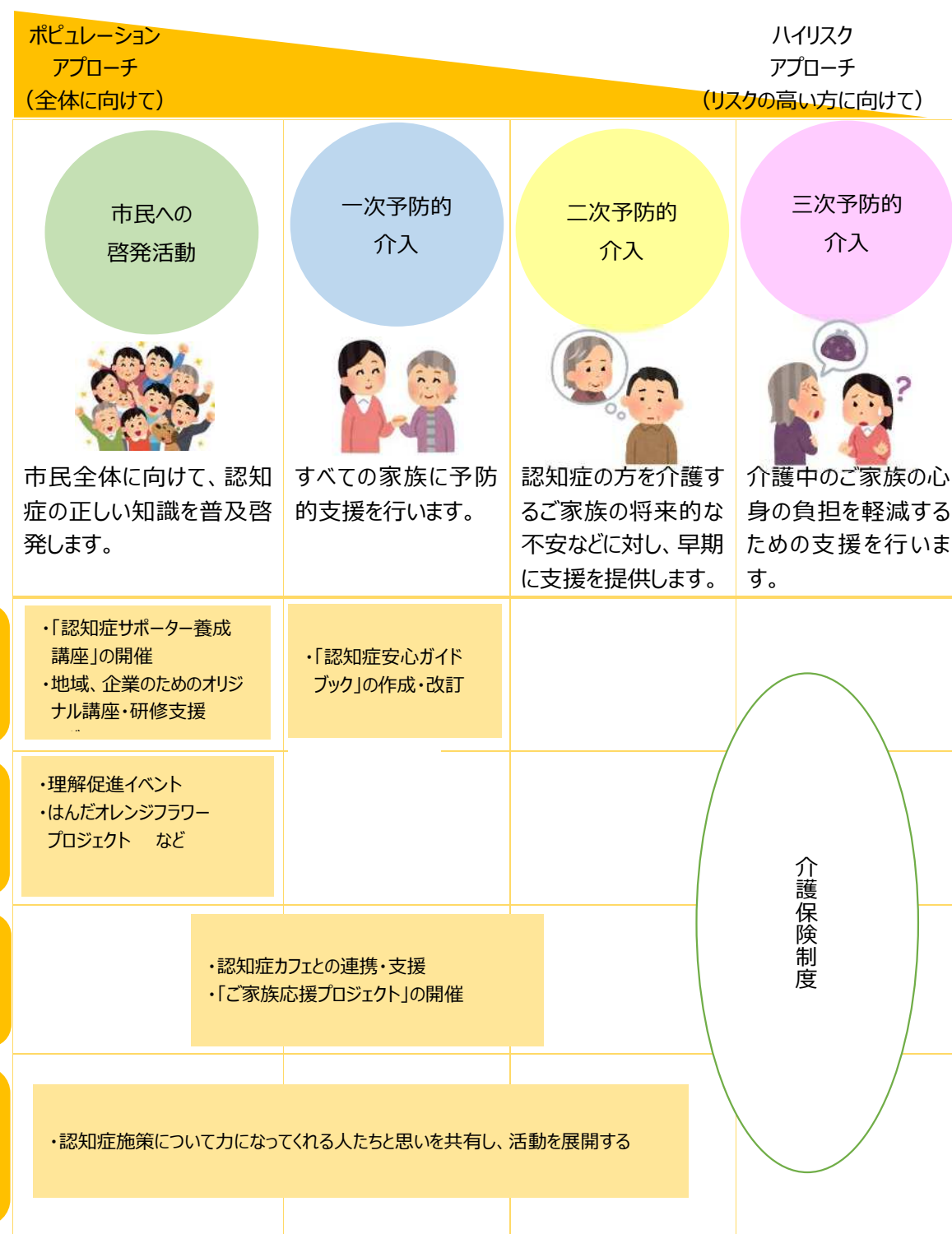




＜認知症地域支援推進事業と地域のケア体制関連図＞



半田市認知症地域支援推進員にご依頼ください！

「認知症地域支援推進員」は、
認知症になってもやさしさの中で暮らすまちづくりを応援します！

- 地域・職場等の集まりで、認知症に関する研修や勉強会、
認知症サポーター養成講座を受けたい
- 認知症に関する活動に助言が欲しい、協力してほしい・・・など



認知症地域支援推進員へ、是非ご依頼ください！

【 申込みについて 】

原則として市内在住・在勤・在学の方に限ります。（1団体につき年2回まで）

- 講座、研修、勉強会など：**5人以上で構成された団体**
※継続的に活動している団体である必要はありませんが、
ご依頼の際には**人数・会場の確保のうえ、お申し込みください。**
- 助言、協力など：**適宜健康課までお問い合わせください。**

【 申込み方法 】 ※開催まで1か月以内のお申込みの場合は一度ご相談ください。

- ① 活動依頼書（2ページ目）に希望内容を記入する。
- ② **健康課**へ活動依頼書を提出する。

【 問い合わせ・申し込み先 】

半田市福祉部健康課（1階⑤番窓口）
TEL：0569-84-0662 FAX：0569-25-2062
E-mail：kenkou@city.handa.lg.jp
※メールでお申込みの場合、可能な限り申込書を添付してください。

中面も
ご覧ください。



認知症地域支援推進員 活動依頼書

半田市福祉部健康課 宛
TEL : 0569-84-0662
FAX : 0569-25-2062
E-mail : kenkou@city.handa.lg.jp

※日程調整上、下記の内容のとおりお受けできない場合があります。ご承知おください。

団体名 行事名		ふりがな 代表者	
TEL		FAX	
会場		年齢・人数	歳代 人程度
日程	令和 年 月 日 () : ~ :		
会場の物品	椅子 (有・無)、机 (有・無)、パソコン (有・無) プロジェクター (有・無)、 スクリーン (有・無)		
駐車場	有 (場所 : 台数 :) ・ 無		
チラシ作成	有 ・ 無 ※広報用のチラシ等を作成した場合は控えとして一部提出してください。		

講演・勉強会など

(1) 認知症サポーター養成講座 (所要時間 : 1 時間 30 分)

認知症に関する正しい知識や認知症の方への対応などを学び、認知症の方とご家族を温かく見守り支援する「認知症サポーター」になることができます。

(2) ONE アクション研修 (所要時間 : 45 分)

認知症の方と接することの多い職場 (銀行や交通機関、各種店舗など) の方を対象に、グループワークを通して認知症の方への対応を学びます。

※認知症サポーター養成講座を受講済み、または認知症サポーター養成講座と同時開催が条件です。

(3) 地域での認知症に関する講演、勉強会 (30 分～1 時間程度)

- | | |
|-------------|----------------|
| ①認知症の基本的な知識 | ②介護保険・サービスについて |
| ③認知症の方への接し方 | ④ご家族の心構え |
| ⑥その他 (| ⑤自宅でできる介護 |

その他 (具体的に)



認知症地域支援推進員とは？



これからの人生を認知症とともに歩むご本人とご家族が
安心して暮らせる地域づくりに取り組みます。



半田市の認知症対策は
市ホームページをご覧ください。

認知症地域支援推進員とは

半田市では「認知症地域支援推進事業」の実施を目的に、令和4年度から市内事業所のご協力をいただき、認知症地域支援推進員を3名配置しています。市と地域を結ぶ大切なつなぎ役であり、認知症施策への助言や認知症に関する講座、相談・支援と一緒に取り組んでいます。

事業の目的

「認知症地域支援推進事業」は、これからの人生を認知症とともに歩む本人と家族の不安な気持ちを受け止め、サポートできる地域を作るためのプロジェクトです。認知症の方と家族のための「関係づくり (企画)」を通じて、**地域全体が認知症への適応力を自然に身につけていくことが目的です。**

これによって、認知症とともにある方たちの在宅生活の安定と継続が図られることを目指しています。

「認知症の方が、住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らせるまち」とは、「誰にとっても暮らしやすいまち」です。そのためには、地域のお互いの協力が欠かせません。

また、介護や福祉のサービスがあっても、孤立してしまえば、役に立たないサービスになってしまいます。人と人とがつながって利用してこそ、支えるサービスとして機能するのです。

認知症地域支援推進員は、地域の架け橋として、地域にいる人たち同士をつなぎ合わせ、お互いに支えあうことのできる地域づくりを進めています。



(左から)
永田 雄大 氏 (社会福祉法人 椎の木福祉会)
森川 武彦 氏 (社会福祉法人 椎の木福祉会)
石澤 慎悟 氏 (医療法人 宏友会)

